

メジロザメ

分類: サメ目 メジロザメ科
 学名: *Carcharhinus gangeticus*
 英名: Grey shark, Requiem shark

本州中部以南からハワイ、オーストラリア、印度洋に分布し、常に中層から表層を遊泳し、河川を溯ることもある。体型は背鰭の部位が盛り上りやや太めであるが頭部及尾部は寧ろ細めである。体色は背部が灰褐色で腹部は白い。眼には白色の瞬膜と呼ばれる一種の瞼があって和名の由来するところである。第1背鰭の起部は胸鰭中央の真上にあるので他種との識別は容易である。卵胎生で18尾位の仔魚を産む。尾鰭は上葉が大きく下葉は短い。すべての鰭はフカのヒレとして上等で肉は蒲鉾の原料として用いられる。同科のヒラガシラ *Scoliodon walbeehmi* はメジロザメと分布域も同一で、似かよった体型であるが、吻端から眼にかけての頭部が平たく、体色が黒褐色で、鰭は淡く縁取られた黒色であること及第1背鰭は胸鰭と腹鰭の略々中間であることで、区別される。



ジブラルタル -1967-



サルバドル -1971-



ガンビア -1971-



キューバ -1966-



ニカラガ -1969-



キューバ -1967-

アオザメ

分類: サメ目 アオザメ科
 学名: *Isurus glaucus*
 英名: Bluepointer, Mako shark

全世界の温帯から熱帯にかけての表層に分布し、日本では中部以南、時として北海道近海に現れる事もある。体型は背部は直線的で腹部がややふくれずぐりとした形をしていて尾柄は比較的細い。尾鰭は上下葉同大の半月形で厚く後縁は色が淡い。体色は背部が濃緑青色で腹部は白い。歯は犬状歯で内側に湾曲し両顎共同形で鋭い。鮪延縄の外道として漁獲されるが延縄にかかった鮪類を食害し、サメ喰いと呼ばれるが被害は大きい。甚だ狂暴で人間に害を与えることもある。背鰭は上等のフカのひれとなり肉は蒲鉾の好原料となるが、イタリアではステーキとして好んで賞味される。魚市場関係者はモロと称する。



英領アセンション -1971-



英領印度洋地域 -1968-



グレナダ -1975-